

## 「みやぎ街道交流会」設立趣意

みやぎの地は、自然、歴史、文化、風土などの豊かな地域資源があり、中でも街道と舟運は、みやぎの各地域をつなぎ、地域の発展に貢献してきました。

奥州街道や羽州街道といった幹道や数多くの脇往還には、多くの人々やもの、文化が行き交っていました。また、北上川、阿武隈川やこれを結ぶ貞山堀などの舟運は、街道と一体となって、多様性のある地域を繋いできました。

現在、街道は、幹線道路として使われているものもありますが、一部の街道や舟運は、鉄道や自動車交通の発展により、人やものの往来が絶え、それまでの役割を終えています。

一方で、癒しや心のやすらぎを求めて、歴史ある街道を歩く人、舟運を学びながら、水辺の環境を地域づくりに活かす人々が増えてきています。

これからは、街道や舟運の新しい役割として、地域を無限のネットワークとして繋ぎ、地域づくりに取り組んでいる各種団体や人々を相互に結び、お互いの交流を促進するとともに、新たな連携へと発展させていくことが期待されます。

私たちは、地域資源等の保存、持続可能な活用を通じて、地域づくりに取り組む各種団体や人々に呼びかけ、心豊かで誇りあるみやぎの地域づくりに貢献することを目的として、舟運の要港のあったこの松島の寒風沢の地で「みやぎ街道交流会」を設立いたします。

平成19年5月3日

発起人  
高倉 淳  
大山 真由美  
京野 英一  
堀川 邦雄



浦戸諸島・野々島(浦戸諸島開発総合センター)にて